

# HELLOくさなぎ

NO.12

2024年3月12日発行

発行/一般社団法人草薙カルテッド

有度地区まちづくり推進委員会

企画編集/文化教育事業部

問い合わせ先/事務局070-1616-4055



このプロジェクトは、地域コミュニティの一環として、体感を深める機会にもなっており、昨年一月には「つながるくさなぎ冬フェス」の中のブースでは、子どもたちが参加するワークショップが実施されました。このワークショップでは、伐採

二〇二四年一月末草薙商店街通りのリニューアルに向けた工事がついに始まりました。草薙駅前の賑わいの活性化と歩行者の利便性向上だけでなく、地域コミュニティの強化にもつながっています。このプロジェクトの注目すべき取り組みとして、伐採されたケヤキの街路樹を草薙の地域に長く愛される品として蘇らせるプロジェクトが動き出しています。



## 「みんなが活躍する草薙商店街通り」スタート

### 草薙商店会と一般社団法人草薙カルテッド

このように、草薙商店街通りの工事は、街の物理的な改善だけでなく、地域の文化やコミュニティの再生にも大きく貢献していく形で進められています。この取り組みが示すように、草薙商店街通りの再生は、街を美しくするだけでなく、地域の人が一体となって創り上げる新たな歴史の始まりを告げています。



活動が行われ、参加した子どもたちは、自分の手で何かを創造する喜びを体験し、同時に地域の歴史とより深くつながる機会を得ました。このイベントは大変盛況で、参加した家族や地域住民の皆様からも好評をいただきました。



二〇二三年十二月十六日に、「つながるくさなぎ冬フェス2023」を開催し、同日開催の草薙商店会歳末大感謝祭と一緒に草薙商店街通りを盛り上げ、約一万人の方に来場いただきました。



草薙商店会 & つながるくさなぎ実行委員会



コースがやってきてくれました。子どもたちと触れ合ったり写真を撮ったりしながら会場を練り歩き、ステージも一緒に盛り上げてくれました。ボランティアアスタツツや出店、ステージ出演など、たくさんの方に協力いただき無事に開催することができ感謝申し上げます。商店街通りの改修工事が始まったため、今年からはイベントの形式が大きく変わるかもしれませんが、今後も皆様に様々な形で関わっていただくと嬉しいです。

北口側と南口側で分けてゴミを集めました。その結果は…

北口側	南口側
9 kg	7.75 kg

体重計に乗せて測りました



日頃から草薙地区では様々な団体の方に清掃活動を行っていただいているため、とても綺麗な街の状態が保たれています。当日は92名の参加者に協力いただきました。初めて草薙の清掃活動に参加した学生からは「駅前が綺麗だけでも少し離れて行くとゴミが多くなるので、次は場所を変えてまたやりたい」という感想がありました。

みんなが参加した くさなぎクリーンフェス



一般社団法人チームゆらのメンバー

地元静岡県産の食材を使用した宇宙食の開発をしており、これまでに「しじょうかおでん」「みかんゼリー」「けんちん汁」などの試作品が作られました。中でもみかんゼリーに重点を置き、その認証取得を目指しています。宇宙食として認証されるためには、包装の完全性、保存性、栄養性、品質などの厳格な基準を満たす

「一般社団法人チームゆら」は、宇宙飛行士のための「宇宙日本食」開発を目指しています。プロジェクトの発起人は、宇宙や天文に深い関心を持つ静岡大学附属静岡中学校一年生の増田結桜さんです。彼女は宇宙食開発の仕事に魅力を感じ、自ら宇宙飛行士を幸せにする宇宙食を作りたいことを決意しました。



増田結桜さん (ますだ・ゆら)

二〇二三年十二月二日には草薙カルテッドが行うまちづくりサロンでも「やりたいことの支え方・育て方」というテーマの中で、活動やその想いをお話してくれ開発

必要があります。



このプロジェクトは、宇宙食の開発だけでなく、教育や地域社会の活性化にも貢献してくれています。同世代に限らず、いろんな人に夢を追いかけ、その価値と、それを実現するために地域社会と協力することの大切さを教えてくれます。

最終的に目指す姿として、「静岡県の食材を使った宇宙日本食はまだ少ないため、今回の開発を行うことで、静岡県と静岡食材の魅力を世界中に発信し、県全体の活性化に繋げたい。チームゆらの宇宙日本食が出来上がった暁には、静岡市の防災食の備蓄品として、また介護食としても採用いただきたい。」と語ってくれました。

途中のみかんゼリーの試食会なども行いました。



草薙カルテッド×県立大学×静岡市地域福祉共生センター初のコラボの健康出席講座を静岡信用金庫に協力いただき、草薙研修センターで開催しました。理学療法士の山田先生が、ミニレクチャーと実践の指導してくださいました。「社会参画するだけで健康維持につながるよ！」とのステキなメッセージとともに、みんなで無理なくストレッチ。胸を張って、背筋をピンと伸ばして、こころもからだもほぐれた1時間でした。



新規案件・サービスの増加につき採用枠拡大!

**介護スタッフ募集中!**

「人と街を元気にする」をモットーに訪問介護・障害福祉サービスを行っています

アザレア介護サービス

TEL:0120-992-120

詳細はこちら!

草薙白邸 KUSANAGI haku TEI

2024年4月頃オープン予定

高齢者向け住まい + 相談所

草薙白邸 準備室 お問い合わせ 054-335-3353 草薙1丁目1-5

**有度地区の皆さまへ!**

私たち草薙カルテッドと共に「有度地区いいね!」「草薙いいね!」を加速する仲間になりませんか?

web サイトにて最新情報更新中

ぜひご確認ください▶▶▶

# 文教トピックス



## 静岡サレジオ高等学校 ぼくらの防災会議



静岡サレジオ高等学校の『ぼくらの防災会議』です。みなさんは私たちのことをご存知でしょうか？防災について会議している集団かな？と思われるかたも多いとおもいます。『ぼくらの防災会議』とは、今年で四年目を迎える防災・防犯をメインに活動しているグループです。活動時間は、毎週木曜日の放課後に週一時間と少ないものの、昨年から特に校外との連携活動に力を入れています。それでは、今まで行ってきた主な活動について紹介します。

まず、応急手当に関する活動についてです。もしものときのための普通救命講習を校内で実施したり、地域の方へボランティアでAEDの実演指導をしたり、担架で運ぶ搬送訓練の実施をしたりしました。



次に、防災・減災についての活動です。実際に過去に浸水した本校女子更衣室付近の排水口逆流の防止のために土嚢を設置した他、地震などにより校内の水道が止まった場合を想定し、仮設トイレをすぐに組み立てられるよう訓練しました。また、地域防災会の方のご依頼で、地域の方を対



象に土嚢作り講座を担当させていただきました。また、学校に備蓄された防災食を生徒のニーズに合わせたものに変更し、今年生徒の声を反映し、現行の防災食から手羽先リソット、ピスコ、わかめごはんなどへの変更を行いました。

そして、防犯の活動についてです。不審者が校内に侵入したことを想定した防犯訓練を実施した他、先生方が使用するための防犯シールドを古い学習机の天板を再使用して制作し、不審者対策として本学園中学・小学校・幼稚園に配布しました。学校外での主な活動として、浸水被害を受けた納屋の土砂掻き出しボランティアに参加しました。他にも、AEDや心肺蘇生法を地域防災訓練等で地域住民の方にレクチャーさせていただきました。

静岡サレジオ高校2年 渡辺真由那

## 有度ふるさと物語



巴川は流域に人々が住み農耕・稲作が始まった弥生時代以来、稲作に必要な水を田畑に供給し、道路が狭く凸凹な荷車や牛馬の使用が難しかった明治初期以前の時代には、物資の運搬や人々の移動などでこの地域最大の交通インフラでした。四〇〇年昔、駿府城に居を移した家康公は、河口の江尻湊に集まった甲州からの年貢米や伊豆からの木材・石材を駿府城に運び込むため、川底を掘削したり川から城まで水路を作らせたりしました。流域の能島あたりでは瓦造りが盛んで、出来上がった瓦



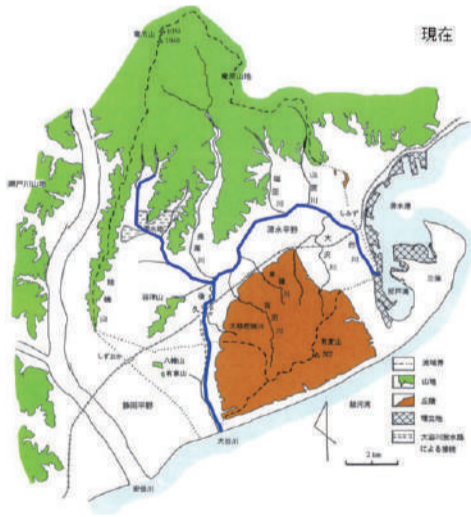
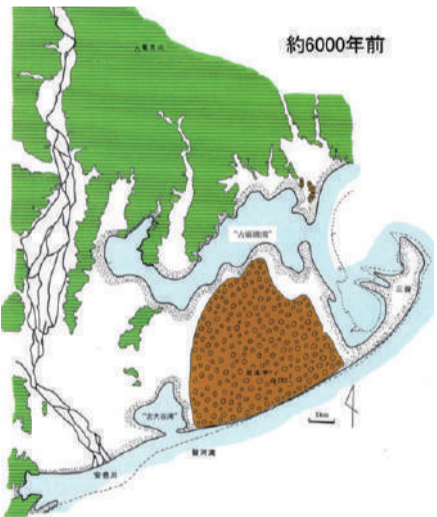
を船で各地に出荷していました。また、水のきれいな川には鯉や鰻、川エビなど漁業資源も豊富で、農閑期の漁業が盛んで人々の生活を支えてくれていました。

反面、災害が多く有史以来流域に暮らす人々を苦しめてきました。一昨年の台風十五号や、半世紀前の七夕豪雨などは記憶にあたりしいところですね。

巴川の名前の由来は、その昔今よりもずっと水量が多く曲がりくねってゆったりと流れている本流に、長尾川や草薙川の山を下ってきた急流がぶつかる合流点では渦を巻いていたことから、渦をトモ工と言って巴川と呼ばれるようになったと言われています。

このようにゆったりと流れている巴川は、原流域から河口まで一六キロで高低差は僅か六メートルです。安倍川は一六キロ地点で百メートルです。このゆがゆがたりと水はけの悪い川がとることが分かります。これが水害を起す最大の原因となっています。それは、六千年前の縄文時代にはこの地域は袖師から麻機沼辺りまで、古麻機湾と呼ばれる入江になっていて、そこに長尾川などの急流が大量の土砂を運びこんで入江を埋め尽くし平らな水はけの悪い湿地帯を造ったからです。

稲作が広まった弥生時代になると初歩的な灌漑などで湿地帯を水田化しました。更に人口が増えると住宅や煮炊



有度ふるさと研究会 堀場

き・土器製造に山の木々が伐採され、保水力が失われ水害の規模が格段に拡大しました。この大昔入江だった地域がそのまま一昨年の水害や七夕豪雨の被災地にソックリ重なります。

先に述べたように巴川は重要な交通インフラだったので、川底を掘り川幅を確保する川除普請が江戸時代には何度も行われました。しかし幕府の財政が悪化するとそれは地元負担となり地の人々を苦しめました。明治四十年から六年かけて、現在の換算で数百億円の費用や土地を、有度村など十一町村で出し合って、曲がりくねった川を現在のほぼ真っすぐな川に改修しました。しかし当時最も低いところを流れる巴川の水は農業用水に使えず、莫大な工事費の負担や補償問題で地域の地主には大きな負担の残る事業でした。この不満が次の時代で全村を上げての「有度の耕地整理事業」に繋がっています。そのお話は次号で。

日本の家を100%耐震に。

みなさまに愛されて創業50周年 注文住宅部

株式会社 **アキヤマ** Tel 054-345-1735

この町の皆様に愛され67年 快適ライフ、お届けします

草薙駅前 (株)伊藤電気

Tel/Fax 054-345-0837 ito-denki.jp

- 家電販売・施工・修理・電気工事 ●照明プランニング・施工
- 一般家庭用エアコン～業務用大型空調機販売・施工
- アンテナ共働工事

草薙から花と笑顔をお届けします

**花勇** HANAYU 草薙

〒424-0886 静岡市清水区草薙1-7-1 TEL 054-368-5187 FAX 054-348-9773 草薙駅南口交差点すぐ

# 有度地区まちづくり推進委員会 まぢづくり通信

## 第2回 『ふれあいもみじ祭り』

令和五年十一月二十六日第二回うどふれあい『もみじ祭り』が開催されました。沢山の笑顔があふれ、有度のコミュニティが一層強まったイベントは、まさに大成功と言えるものとなりました。



第二回の今回は、より多くの地域の皆様の協力もあり、地元特産品をはじめ、ワークショップ、社会福祉協議会によるポッチャ体験など多彩なブースが並びました。そのブースで張り切ってお手伝いしてくれたのは、私たちが活動している子どもたちに来てくれる子ども達や、卒業した中学生の子ども達。商品の陳列から、ポスター作り、大人顔負けの呼び込みなど、楽しみなながらも一生懸命販売してくれる姿は、心温まる感動がありました。様々な活動から繋がった輪は、地域の未来を担う子どもたちが持つ可能性と希望を示すものであり、ご来場くださった小中学校の校長先生や沢山の先生方からも、お褒めいただき、私たちも達成感に満ちています。他にも、プロマンシヤンのパプリン先生によるシャボン玉ショーは、幼児からおじいちゃんやおばあちゃんまで、ワクワクにこにこしながらの楽しいショーになりました。



した。体験型の大きなシャボン玉作りにも、何度も何度も楽しんで見られた姿も見られました。頂いたこのご縁に感謝しながら、これからも沢山の笑顔の輪を、私たちは作っていきま

草薙テラス

## 笑顔が溢れた 三校合同ふれあいイベント

令和五年十月十四日(土)に、清水第七中学校、清水有度第一、第二小学校、PTAが「七中グループ三校合同ふれあいイベント」を開催しました。この有度地区では、「清水七中グループ小中一貫コミュニティ・スクール」として、学校・PTA・自治会・地域で活動する各種団体など多くの関係者が子どもたちのために様々な活動を行い、定期的に情報交換をしながら、連携を図っています。本イベントは、子どもたちの楽しい思い出づくりや地域への愛着を育むこと、小中一貫の取組



をより一層深めていくことを目的に、三校PTAが初の試みとして実施しました。当日は、中学校での部活動見学、小学校でのストラックアウトやスーパーボールすくいなどのほか、自主防災会、学校応援団ひとつなぎコーデイネーター、草薙カルテッドから協力をいただき、災害時のアルファ米の試食体験、けん玉やコマの遊び体験、草薙のまちづくりを考えるサロンを同時開催し、各コーナリーをスタンプラリーで楽しみながら実施する企画を行いました。「うどっしー」や「うどにん」の学校キャラクターも応援に駆けつけてくれて、最終的に千名近い方に参加していただきました。参加者からは、「親子で楽しい思い出づくりができた」「普段は入れない中学校に入ることができ、部活動の様子も見学できて、中学校の様子を知ることができた」「将来のまちのことを考える良い機会になった」「地域の方の様々な活動を知って、この地域をさらに好きになった」などの意見をいただきました。大変好評のうちに終了することができました。



今後三校PTAでは、学校と連携をしながら、地域とともに子どもたちを育て



る環境づくりを進めていきたいと考えております。そして、楽しい思い出作りながら、地域に愛着を持ち、子どもたち自身が、自分たちは地域の一員であると感じることが出来る活動を行っていききたいと思っております。清水有度第一小学校PTA会長 横田



## 有度地区まちづくり推進委員会 新年会



1月28日に令和6年新年会が清水テルサで開催されました。今年初めに能登半島で発生した地震を鑑み、参加者全員で黙祷から始まりました。

参加者間の交流の時間も設けられ、有度地区のさまざまな分野で活躍する人々が情報交換を行い、今後のまちづくりに向けた連携と協力の強化が図られました。今年も、有度地区まちづくり推進委員会を中心に、住民一人ひとりが力を合わせて、より魅力的なまちづくりを進めていくことが期待されています。

## 草薙カルテッド賛助企業のみなさま


静岡銀行/清水銀行/村田ボーリング技研(株)/フジ物産株式会社/PAPILLON/共生会ライク/(株)KOU こう月/La paz/ちえずなっつ/NPO 法人しずおか共育ネット/社会福祉法人静和会/一級建築士事務所 石川正子設計室/北海道バタークレープ/ミヤマパン/Olive Yoga/おむすび ONIMARU/ドッグカフェしっぽーむ/Denims Kitchen/こころ接骨鍼灸マッサージ院/おかえりのと/DESIGN FUU/Montessori ちゃいんどはうす/草薙バル sea-Dz/(株)Kスタジオ/三日月キッチン./ふじみ歯ならびクリニック/ヨシコン株式会社/BOUL'ANGE/見返り狐のおいなりさん/中電クラビス株式会社静岡営業所